

その6 お客様の環境意識の高まりにフィットした  
融資や預金を新たに開発しご提供します。

環境関連融資

(平成16年度～18年度取扱件数)

- カーライフプラン・エコカー（環境自動車）資金…自動車税のグリーン化税制適用対象車購入（200件）
- 青空再生低公害車導入資金（県制度資金）（80件）
- かわしんISO関連特別融資…ISO9001・ISO14001の認証取得費用（3件）
- 環境みらい資金（県制度資金）…公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等（3件）
- その他…オール電化住宅には住宅ローンの金利優遇制度があります。

環境関連預金

かわしん環境クリーン定期預金を募集しました。



平成20年6月末日現在の本預金残高の0.05%に相当する額をかわしんから埼玉県へ環境保全活動に役立てて頂くよう寄付をさせていただきます。  
(お客様の負担はございません)

0.1%上乗せの優遇金利 募集枠50億円

寄付金の目安 50億円×0.05%=2,500千円

第1次募集（好評につき平成19年8月23日完売）

第2次募集（引きつづき平成19年10月1日より発売）

かわしんのISO・環境関連の経歴書

H.15.9.1	「環境管理室」設置	H.17.11.1	ウォームビズ開始（以降毎年11月～3月実施）
H.15.9.12	第1回コンサルティング開始	H.19.2.13	ISO更新審査（H.19.5.28～H.22.5.27）
H.15.12.3	かわしんISO関連特別融資の発売開始	H.19.7.2	かわしん環境クリーン定期預金発売
H.16.5.28	ISO認証取得（H.16.5.28～H.19.5.27）	H.19.10.1	かわしん環境活動報告書Vol.1発行
H.17.6.21	クールビズ開始（以降毎年6月～9月実施）		

川口信用金庫 環境方針

I.基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II.基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 上記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、および福祉

・環境を大切にす真の地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。

3. 環境に関する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、この環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

平成17年2月1日

川口信用金庫  
理事長 山口 泰男

# かわしんの環境活動報告書 Vol.1



川口信用金庫

発行日/平成19年10月1日

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号 TEL 048-253-3333 FAX 048-254-2665  
かわしん環境管理室 <http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

かわしんは  
ISO14001取得金庫です。  
(本部及び本店営業部)



ISO14001  
マネジメントシステム登録証

登録番号：JQA-EM4039  
登録事業者：  
川口信用金庫  
本部及び本店営業部  
埼玉県川口市栄町3丁目9番3号

当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 14001 : 2004 / JIS Q 14001 : 2004

登録日 : 2004年 5月 28日  
登録更新日 : 2007年 5月 28日  
有効期限 : 2010年 5月 27日

財団法人 日本品質保証機構  
理事長 山口 泰男  
東京 日本 JQA



# かわしんの環境保全活動

- ・ISOとは、国際標準化機構の略語で、電気・電子分野を除くあらゆる分野の標準化を推進する国際機関です。
- ・ISO14001とは、環境管理の国際規格のことで、規格の審査に合格した事業所がISO14001の認証取得をすることが出来ます。

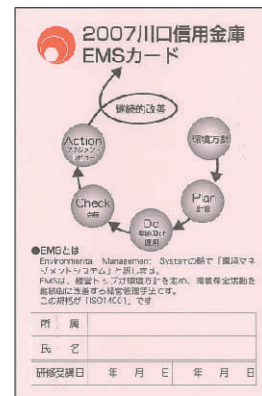
## かわしんの環境目標（平成19年度目標）

### I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1. 電力の使用	平成19年度の電力使用量を平成14年度比▲6.7%削減する。
2. 廃棄物の分別と排出	廃棄物の分別を推進するとともに、平成19年度の物件費（別に定める費目）を平成14年度比▲10.3%削減し排出量の削減を図る。
3. 紙の使用・廃棄	平成19年度の紙費用を平成14年度比▲13.3%削減する。

### II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

- 1 環境関連金融商品の拡販
- 2 新たな環境関連金融商品の企画・開発
- 3 OA機器の効率的活用
- 4 コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
- 5 顧客へのISO普及・支援
- 6 各種地域貢献活動の立案及び実行
- 7 環境関連のその他サービスの提供



## 環境意識の高揚を図るEMSカードを全職員が所持しています。

EMSとはEnvironmental Management Systemの略で「環境マネジメントシステム」と訳します。当庫職員は、「金庫の環境方針」「私たちの環境目標」「私たちの環境行動ルール」「各部の有益な環境目的・目標の具体的な取り組み」を記入したEMSカードを全員が所持しています。

## 地球温暖化防止に向けて、クールビズ・ウォームビズを実施しています。



**冷房温度28℃**  
ノー上着・ノーネクタイの軽装着での営業活動。毎年6月～9月実施。

**暖房温度20℃**  
毎年11月～3月実施。

平成19年度にエコカー3台を購入しました。順次エコカーに変更していきます。

## その1 資源の効率的利用

- 省エネ
- CO2削減
- 温暖化防止
- 緑の保護
- 紙の削減

### 紙の削減

平成14年度の紙費用を基準として

16年度	9.58%削減
17年度	15.20%削減
18年度	17.61%削減

### 廃棄物の削減

平成14年度の物件費を基準として

16年度	8.63%削減
17年度	9.61%削減
18年度	16.66%削減

### 電力の削減

平成14年度の電力使用量を基準として

16年度	4.62%削減
17年度	9.23%削減
18年度	9.65%削減

（各項目とも各年度目標達成しました）  
（産廃はマニフェスト管理しています）

## その2 循環型社会の構築への取り組み

- コピー用紙等はエコペーパーを使用。
- グリーン購入を行っています。
- 廃棄物の分別回収
- 全店で毎年発生する廃棄文書を溶解処理して再生に役立てています。トイレトーパーに換算すると下表になります。

年 度	廃棄文書重量(トン)	再生トイレトーパー個数
H17年	103	103万個
H18年	36	36万個
H19年	45	45万個

廃棄重量1トンでシングルペーパー1万個換算（目安）



分別用ゴミ箱の配備

## その3 教育・啓発

環境の国際基準ISO14001のEMS（環境マネジメントシステム）に基づき、職員に対し継続的に教育・啓発を行っています。



ISO事務局による教育・研修

## その4 社会貢献活動

- 地域社会における環境保全への協力
- 埼玉県緑化推進委員会への協力
- 埼玉県の環境保全活動へ協力するため「かわしん環境クリーン定期」を開発し発売しました。

## その5 お客様へ環境情報を提供します。

これからも「かわしんの環境活動報告書」にて情報を提供していきます。